

あすを拓く みどりの新しい風

むつみ

2025

5

No.375



古河地区

北島 賢司 さん、のり子 さん

作っている作物

米、長ナス、ねぎ、ブロッコリー



JA茨城むつみのHPを
ご覧いただけます！



LINEはじめました
@321osrw

長寿バンザイ

第43回

田中信義さん

昭和11年4月1日生まれ 89歳

田中とし子さん

昭和11年6月10日生まれ 88歳

境地区

Q. 毎日楽しみにしていることはありますか。

A. グラウンド・ゴルフが趣味です。これから暖かくなってくるので、行く回数を増やしたいです。家庭菜園で季節物の野菜を作っているのが楽しみです。

Q. 思い出に残るエピソードはなんですか。

A. 国民体育大会でグラウンド・ゴルフ競技に夫婦で出場出来た事です。その中でとしさんは個人女子の部門で第3位に入賞した事が思い出に残っているそうです。

Q. 長寿の秘訣はなんですか。

A. ハウスでアロエを栽培しており、毎朝アロエ3~4cmを食べる事です。あとはグラウンド・ゴルフをして体を動かす事です。

グラウンド・ゴルフについて楽しく話してくれました。これからも趣味のグラウンド・ゴルフ頑張ってくださいね。



令和7年度

新採職員入組式

J A茨城むつみでは4月1日、境町の本店にて令和7年度新採職員4名の入組式を開きました。

石塚克己組合長は「社会人としての誇りと責任を持ちつつ、組合員の為に一人一人考えて行動してほしい」と挨拶しました。

新採職員を代表して猿島地区営農センターに配属になった田中悠斗さんが「私たちは社会人として、まだまだ未熟で頼りない部分が多々ございますが、この若さを武器に何事にも全力で取り組み、一日でも早く一人前になれるよう努力してまいります」と謝辞を述べました。

新採職員は3か月の試用期間を終えた後、7月より本採用を迎える予定です。

組合員また地域の皆様には、これからよろしくお願ひ致します。



カレーの食材を寄贈



地域食堂の様子

参加者からは「自然体で楽しめた」「高校生主体で開催した事が素晴らしい」など好評で、今後定期的に地域食堂「おかげさまキッチン」を開いていく予定です。

同JAの石塚克己組合長は「当JAも地域に必要とされるJAを目指している。今回話をいただき、方針に共通する部分があり共感できた。地域のために若い世代が動いてくれるのは非常に嬉しい。地域を活気と笑顔に満ちたものにするため、今後も安心安全な地元農産物を届けたい」と話しました。

「おかげさまキッチン」は、同校の高校生3人が「子供たちと高齢者のみんなが交流出来る場所を作りたい」と思い、課題研究活動の一環として地域食堂を今回立ち上げました。同食堂は、お年寄りも子供も、参加者が得意なもの先生となつて教え合ったり、助けあつたり出来る場所を作る事を目的としています。

J A茨城むつみは3月30日、茨城県立古河中等教育学校の高校生が運営する地域食堂「おかげさまキッチン」に対し、食材を寄贈しました。この日寄贈した食材は、同JA管内で生産された精米5㍑、ローズポーク2㍑の他、ニンジンやジャガイモ、タマネギで、カレーを作る材料として使用されます。

高校生が運営する地域食堂へ
食材を寄贈

野菜生産部会連合総会開催

JA茨城むつみ野菜生産部会連合は3月18日、境町の本店で令和6年度総会を開催しました。

連合役員、県西農林事務所、境町役場、坂東市役所、全農、坂東普及センター、JA関係者約45人が出席しました。

開催にあたり、同連合の小島信宏部長は、「これから春になると出荷最盛期になり、日々農作業が忙しくなると思う。今年も気温の上下が厳しくなると思うので留意いただきながら、農作業に励んでほしい」と挨拶しました。

総会では、令和6年度の事業報告及び収支報告、令和7年度の事業報告及び収支予算等を審議し、承認されました。また、役員改選により新役員は以下の通り選出されました。

同連合は、管内各地区の部員356人

で構成しており、県の銘柄産地指定を受けているレタス、サニーレタス、人參等多品目を生産しています。各地区の集出荷場を巡回し、お互いの良いところを取り入れようと情報共有をしています。

(敬称略)

部長	金久保祐一(境地区)
副部長	因泥周一郎(総和古河地区)
副部長	塚原 敏夫(猿島地区)
会計	中村 光男(三和地区)
監事	粕谷 政輝(総和古河地区)
監事	野村 浩之(境地区)



挨拶する小島部長

窓口担当者・推進担当者コンクールで表彰

JA茨城むつみは令和6年度推進担当者コンクールにおいて表彰を受けました。このコンクールは茨城県信連が主催しており、多様化する組合員・利用者ニーズを把握し、JAとの取引の拡充・メイン化に際する渉外担当者の育成を図ることを目的としています。

信用専任渉外担当者年金の部で、橋本さやかさんが県内2位の成績を受賞しました。またJA推薦者賞の渉外担当者の部は金久保祐輝さん、戸張敏子さん、窓口担当者の部は片井美沙子さん、島村直子さんが表彰を受けました。



「ぬくもり」の帰り道に「お花見」

寒の戻りが訪れたことで今年の桜の開花は平年通り。周辺の桜がようやく満開となった4月のある日、デイサービス「ぬくもり」では利用者の皆さんを送迎車で1週間を通して帰り道に近くのお花見スポット「さかいふれあいの里」や「桜土手」「さかい河岸」の桜並木を通り、車窓から満開の桜を「さり気なく」堪能してもらいました。窓から見る陽光に照らされた桜並木はキラキラと輝き、またある曇天の日は灰色の空に浮かび上がるように咲き、時には、はらりと花びらが散り道を桜色に染めます。眺める車内から「あら綺麗ね」「見事に咲いているね」と歓声が上

がったり、じっくりぼんやり眺めたりとみんな様々にお花見をして清々しい気持ちで帰っていききました。桜は僕くも皆さんの気持ちを癒す我が国を代表とする粹な花。春の訪れを満喫しました。



総和古河地区野菜生産部会女性部春リーフ目揃え会

JA茨城むつみ総和古河地区野菜生産部会女性部は、4月15日総和地区営農センターで春作リーフ系の中間品質規格検討会を開催しました。

総和古河地区野菜生産部会の役員、女性生産者、市場、全農、坂東普及センター、JA職員ら合わせて約40人が参加しました。

開催にあたり、同部会の因泥周一郎部会長は「生産者の女性部の皆さんにおかれましては、最後まで品質を落とさないよう、今の値段を維持して売り切りたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。」と挨拶しました。

品質規格検討会では、サニーレタスとグリーンカールの出荷規格について選別基準や量目など、サンプルを使いながら規格統一の重要性を説明しました。

同地区の春作リーフ系の出荷は2月上旬から5月下旬となっておりま



人事異動内示及び発令

新 所 属	新 役 職	氏 名	新 所 属	新 役 職	氏 名
総務企画部	部長	和田 真一	総務企画部リスク管理課	主任	稲垣 裕子
経済部	部長	鈴木 久友	五霞支店	主任	稲垣 佑美
営農部	部長（基幹センター長）	鈴木 研一	総和支店	主任（共済渉外）	橋本 忠明
金融部	部長	後藤 謙治	営農部農産課	兼五霞地区営農センター主任	大木 靖也
共済部共済渉外課	考査役課長 （五霞・古河・総和地区担当トレーナー）	川須香久子	金融部融資課	主任	永岡 奈々
総務企画部債権審査課	課長	青木 絵美	五霞支店	主任（経済渉外）	黒田 航平
金融部金融推進課	調査役兼統括事務リーダー	五島 幸恵	五霞配送センター	主任	小野龍之介
ガス事業所	所長	初澤 克典	猿島中央支店	主任	瀬田 直樹
五霞支店	調査役共済専任管理者	古谷由紀子	農機車両センター	主任	小林 健人
営農部営農指導課	課長	白石 義仁	五霞支店	主任（共済渉外）	鈴木 沙悠
営農部農産課	課長（副基幹センター長）	関根 敏孝	総和支店	主任	綾部 楓子
旅行センター	センター長	金久保 亮	猿島中央支店	係（共済渉外）	吉田 峻大
五霞支店	基幹支店長	知久 明人	総和支店	係	染谷 佳那
三和支店	次長調査役（共済渉外）	染谷 修司	五霞支店	係	清水 実花
古河支店	次長調査役基幹支店長	佐藤 智己	総和支店	係	塚田 萌海
金融部融資課	次長調査役（ローン渉外）	岩間 美可	猿島中央支店	係（共済渉外）	染野 真輝
共済部共済渉外課	次長調査役課長 （境・三和・猿島地区担当トレーナー）	神田 彩香	三和支店	係（金融渉外）	高橋 真樹
共済部共済課	次長調査役	山中 清美	三和支店	試用	石山 陽一
監査室	次長調査役	片井 隆之	猿島中央支店	試用	岩本ひなた
総務企画部総務企画課	次長調査役課長	小林 淳	猿島地区営農センター	試用	田中 悠斗
農産物直売所総和店	副調査役店長	吉田 直樹	共済部共済課	試用	遠藤 洋輔
三和地区営農センター	副調査役センター長兼畜産課長	工藤 紘嗣	五霞支店	臨時職員（金融渉外）	曾根 博
古河支店	副調査役金融専任管理者	白井 優太	三和配送センター	臨時職員	新谷美貴恵
五霞地区営農センター	副調査役センター長	新井 智洋	猿島中央配送センター	臨時職員	五島 保代
営農部園芸課	副調査役	舘野 幸江	金融部金融推進課	臨時職員	大関 由紀
道の駅ごか農産物直売所	副調査役店長	細井 友貴	病院売店	臨時職員	古澤 良治
経済部農業推進課	副調査役課長	高野 勝	病院売店	臨時職員	秋庭 京子
総和地区営農センター	副調査役センター長兼 古河地区営農センター長	羽部 清隆	猿島中央支店	臨時職員	関塚 朋代
経済部生活購買課	副調査役課長	田中 智行	農産物直売所総和店	臨時職員	吉岡 正子
金融部融資課	副調査役（ローン渉外）	青木 康史	猿島地区営農センター	臨時職員	根本 智子
営農部農産課	副調査役	逆井 淳志	境地区営農センター	臨時職員	高野 幸子
五霞支店	副調査役金融専任管理者	鈴木 勇喜	共済部共済課	臨時職員	阿久澤美智子
総和支店	係長共済専任管理者	羽部 真一	総和地区営農センター	臨時職員	関根 妙子
三和支店	係長共済専任管理者	佐怒賀千尋	三和配送センター	臨時職員	野口 義美
三和支店	係長	並木 由貴	総和配送センター	臨時職員	柳本 孝一
境地区営農センター	係長	野口 千湖	道の駅ごか農産物直売所	臨時職員	秋庭 麻衣
金融部資金運用課	係長	初見 信哉	境支店	臨時職員	滝澤 香
境支店	係長	山崎進太郎	境配送センター	臨時職員	落合 幸子
三和地区営農センター	係長	新井 慶樹	猿島中央配送センター	臨時職員	梨元 英之
生活部葬祭課	係長	福島 冬士	総和地区営農センター	臨時職員	中村 正巳

「ローズポーク」枝肉 共励会で最優秀賞受賞

茨城県銘柄豚振興会は3月10日から12日の3日間で、東茨城郡茨城町の(株)茨城県中央食肉公社で第37回茨城県銘柄豚「ローズポーク」枝肉共励会を開催しました。同共励会は、ローズポークの資質改善と肉豚生産技術の向上を図り、生産農家の経営安定と銘柄の確立を目的として開いています。第37回目を迎えた同共励会では、4JA10戸の生産者から雌18頭、去勢12頭の計30頭が出品され、その肉質を競いました。出品された30頭中22頭が上物以上に格付され、上物率は73.3%となりました。最優秀賞は、JA茨城むつみの木村卓司さんが受賞し、枝肉全体のバランスや肉付き、肉質、肉色が最も優れていた枝肉として評価されました。さらに、昨年から新たな審査基準として設けられた「群審査」では、各生産者の出品豚(雌2頭・去勢1頭)を一群として審査しました。枝肉の質や飼育技術の高さなど、総合的な評価をすることが狙いです。群優秀賞一席は、出品豚全頭が上物以上であり、質のバラつきが小さかったことから、最優秀賞同様JA茨

城むつみの木村卓司さんが受賞しました。13日には褒賞授与式が挙行され、同振興会事務局より各受賞者へ賞状と賞品が贈呈されました。

今回最優秀賞を受賞した木村さんは「日々飼養管理に気を付け大切に育てた豚であるため、最優秀賞と群優秀賞一席を受賞できたことはとてもうれしい。沢山の方にローズポークのおいしさを知ってもらえるよう、これからも頑張っていきたい。」と語りました。

最優秀賞となった枝肉は、重量80.5キロ、1キロ当たり枝肉単価1000円(税抜)で取引され、最優秀賞受賞豚肉として店頭にて販売されます。

【茨城むつみ生産者受賞内容】

- 木村卓司さん
- ・最優秀賞
- ・優良賞
- ・群審査一席
- (株)ブライトファーム大久保さん
- ・優良賞



表彰された木村卓司さん

新入児童へ 交通安全帽子寄贈

JA茨城むつみは3月25日、境町役場で境町の令和7年度の新小学1年生約200名分の交通安全帽子を寄贈しました。この取組は昭和51年度から寄贈し、49年続けています。

交通安全帽子は児童の交通安全のため、JA全国共済連県本部が新入学児童に毎年無料で配布しています。今年は同JA境地区常任理事の関稔常任理事、境支店の山田久満支店長が境町の栗原恵子教育長へ手渡しました。

栗原恵子教育長は「黄色い帽子は小学生のトレードマークと言ってもいいほど定着している。児童たちが黄色い帽子をかぶって登校する風景を見ると児童たちの安全確保への取り組みに引き締めたい。」と話しました。

関稔常任理事は「今後も地域住民の皆様が安心して暮らせるよう地域貢献活動に取り組んでいきたい」と話しました。



境町へ交通安全帽子寄贈

組合員のみなさまへ

茨城むつみ農業協同組合
代表理事組合長 石塚克己

令和6年度決算について

日頃より当組合をご利用いただき誠にありがとうございます。

当組合では、組合員のみなさま・ご利用者のみなさまに愛される組合づくりに役職員一丸となって取り組んでおります。

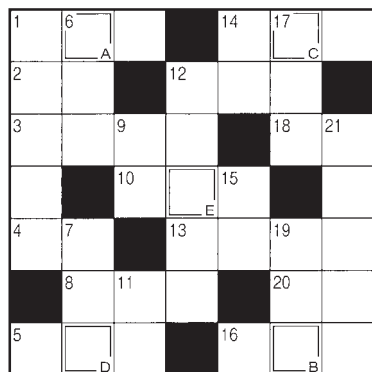
本年度の経営状況におきましては、下記の通りとなりました。引き続き組合員・利用者の方が安心できる組合である様に努めて参ります。

今後社会情勢はまだまだ不透明ではありますが、みなさまにおかれましては、健康に十分にご留意されご自愛くださいますようお願い申し上げます。

【参考指標】	事業総利益	1,945,541千円 (前年対比	99.4%	▲12,529千円)
	事業管理費	1,886,474千円 (前年対比	100.3%	5,681千円)
	事業利益	59,067千円 (前年対比	76.4%	▲18,210千円)
	経常利益	137,031千円 (前年対比	91.0%	▲13,633千円)
	税引前当期利益	102,591千円 (前年対比	80.3%	▲25,227千円)
	当期剰余金	79,585千円 (前年対比	81.7%	▲17,873千円)

応募してわくわくプレゼントを当てよう

クイズ



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

↓タテのカギ

- 1 ひげそり前に顔に押し当てる人もいます
- 6 その泉は——的な空気に包まれていた
- 7 日本には謙譲の——の精神があります
- 9 周囲より小高くなっている土地のこと
- 11 大きなビルが——のタケノコのごとく増えてきた
- 12 ひじをグッと曲げて出します
- 14 雑穀の一つ。アワやキビと並んで知られています
- 15 ちらしやにぎりがあります
- 17 大勢の人が床のあちこちで眠ること
- 19 結んでお吸い物に入れることもある葉野菜
- 21 5月の空を泳ぎます

→ヨコのカギ

- 1 端午の節句に——人形を飾った
- 2 鉛筆にもリングにもあるもの
- 3 2018年頃に大流行した——ミルクティー
- 4 漢字などの読み方を示す小さな文字
- 5 小学校で一番授業が多い科目
- 8 福島県の——は浜通りと呼ばれます
- 10 カァカァと鳴きます
- 12 スロバキアと分離してできた国。首都はブラハ
- 13 フラダンサーの腰で揺れるもの
- 14 初夏でも強く照りつけることがあります
- 16 漢字では雲雀、日晴鳥などと書く鳥
- 18 三毛、トラ、サバといえ
- 20 ギュッと押すと気持ちいい

3月号の答え

A B C D
ウグイス



当選者

第373号の答えは、「ウグイス」でした。
次の方が当選されました。おめでとうございます。
●船橋 恵子・大橋 建治・刈岡 いつ
●堀江 絹子・木村 功・猪瀬千恵子

メールでのご応募はこちらから



85 3060404
境町長井戸二三
JA茨城むつみ
総務企画課
行

④ 一番興味を持った記事は、どれですか。
① 解答
② 氏名 住所、職業、年齢 TEL
③ JA その他に関するご意見、ご要望、とっておきの情報、旅行で行きたいところ、などお知らせ下さい。
④ 一番興味を持った記事は、どれですか。

☆宛先は：境町長井戸23番地
JA茨城むつみ総務企画課
●締め切り 5月31日（必着）
●正解者の中から、抽選により6名の方にわくわくプレゼント（JA取り扱い商品を差し上げます。奮ってご応募ください。）

はがき・メール・FAXのいずれかで、上記の①～④の事項を
もれなくご記入の上、ご応募ください。
E-mail : jamutsumi.kikakuka1@ja-ibaraki.jp
FAX : 0280(87)6630（総務企画課行とお書きください。）

農家の事務負担を軽減し所得増大を目指す

JA茨城むつみ営農部営農指導課は3月10日～3月12日にかけて、同JA本店にて同課の記帳代行職員が記帳代行会員67名に対し決算面談を行いました。この取り組みは、複式簿記による会計の記帳を代行し、農業者の税務申告支援と事務負担を減らすことにより、農家が農業に専念できる環境づくりと適正な納税をする事を目的としています。
作成された申告書類はe-Taxを活用し申告を行います。当JAでは令和7年度も年3回の面談を予定し、農業者の事務負担軽減と客観的な経営見直しの提案や指導をしていきます。



第3回理事会だより

●付議事項

- 第1号議案 役付理事の選任について(案)
- 第2号議案 代表理事の選任について(案)
- 第3号議案 常任理事の選任について(案)
- 第4号議案 理事の順位の決定について(案)
- 第5号議案 信用担当理事・コンプライアンス専任理事の決定について(案)
- 第6号議案 特定理事の選任について(案)
- 第7号議案 理事報酬額の配分について(案)
- 第8号議案 各専門委員の決定について(案)
- 第9号議案 退任理事に対する退職慰労金の支給について(案)
- 第10号議案 第3セクター(株式会社五霞まちづくり交流センター)の取締役の選任について(案)
- 第11号議案 行政庁に提出する業務報告書の承認について(案)
- 第12号議案 ディスクロージャー誌の承認について(案)

●付議事項

- 第1号議案 代表理事の選任について(案)
- 第2号議案 常勤監事の選任について(案)
- 第3号議案 監事の順位について(案)
- 第4号議案 監事報酬の配分について(案)
- 第5号議案 特定監事の選任について(案)

令和7年4月26日

令和7年4月26日



やみつき！ かつおの和風カルパッチョ



【材料】

- ・かつお 1さくまたはお刺身1パック
- ・新玉ねぎ 1/4個
- ・大葉 3枚
- ・ミニトマト 3～5個
- ・茗荷 1～2本
- ・生姜 1/4かけ

ドレッシング

- ・醤油 大1
- ・塩 味を見て少々
- ・粗びき胡椒 少々
- ・すりおろしにんにく お好みで
- ・Aコープ褒められ酢 大1
- ・胡椒 少々
- ・ごま油 小2

提供
三和支店職員

ポイント

- ☆薬味の量はお好みで調整してください。
- ☆ニンニクチップをのせると病みつき感アップ！

【作り方】

- ①薬味類は千切りにします。玉ねぎは薄切りにして辛味抜きをします。ミニトマトは半分に切ります。
- ②お皿に玉ねぎ、かつお、薬味の順で乗せてドレッシングをお好みの量かけます。

JA茨城むつみ相続サポート情報 No.20

【相続・贈与・事業承継等】お気軽にお問い合わせください。秘密厳守いたします。

Q・組合員さんからの質問

相続税の申告と納付に期限はありますか？



A・相続の開始を知った日から10か月以内です。

相続の開始を知った日（被相続人が亡くなった日）の翌日から10カ月目の日までに納付税額が算出される場合には被相続人の住所地を所轄する税務署に相続税の申告書を提出すると共に、納税しなければなりません。

例えば、1月6日に死亡した場合にはその年の11月6日が相続税の申告期限になります。（申告期限の日が土・日・祝日だった場合は、翌日が申告期限です。）

申告書の提出期限に遅れて申告と納税をした場合、原則として加算税及び延滞税がかかりますのでご注意ください。

相続に関するご相談を受付専門家（税理士・司法書士等）との連携で組合員の皆様をご支援致します。
お気軽にお問い合わせください。 お問い合わせ先 JA茨城むつみ 総務企画部総務企画課 相談員 TEL 0280-87-1161
E-mail jamutsumi.kikakuka4@ja-ibaraki.jp

